

CLINT EASTWOOD THE OUTLAW JOSEY WALES...an army of one.

●南北戦争末期「7丁の連発銃を身につけて一人の軍隊」と呼ばれた凄腕アウトローがいた！  
★アメリカ建国200年記念超特作

アリゾナ・ユタ・カリフォルニアに大ロケ敢行！  
《イーストウッド》独壇場の12大見せ場！  
史上空前の迫力とスケールでまくしたてる  
今世紀最大のウェスタン巨篇！



クリント・イーストウッド

チーフ・ダン・ジョージ/ソンドラ・ロック/ビル・マッキニー/ジョン・バーノン

アウトロー

デラックスカラー  
パナビジョン

# 凄い！面白い！イーストウツドの魅力炸裂！今世紀最高の西部劇巨篇！

**\*凄いい映画がやって来た！\***

ワーナー映画がアメリカ建国200年記念に贈る、ウエスタン超大作がこれだ。

アメリカの歴史上最大の悲劇といわれる南北戦争は、また同時に近代アメリカ形成の上にも、重要な意義を持った戦いでもあった。だがしかし、そこに幾多の罪もない人々の犠牲と苦しみがあったことは言うまでもない。主人公ジョージ・ウエールズもそんな一人だ。理由もなく惨殺された妻と息子の復讐に、人生のすべてを賭けて生きぬいた西部の男だった。

映画はそんな男の生きざまを、息もつかせぬ凄まじい見せ場の連続で描いて行く。これが5本目の監督作品になる主演のクリント・イーストウツドが乗りに乗って創った作品といえる。まさしくここには、堂々たる風格の西部劇に加えて、

イースト・ウツドの分身ともいえるあのダーティハリーの魅力のすべてがつめこまれていて、そんな感じだ。

共演陣も多彩で、「ブランチ」のジョン・バロン、「ハリートント」のチーフ・ダン・ジョージ、「愛すれど心さびしく」のソンドラ・ロック、「カックコーの巣の上で」のウィル・サンブソン等、いづれ劣らぬ名優たちに加え、「ラスト・ショー」のサム・ボトムスが、久々に新鮮な演技を見せている。

この作品はイーストウツドのマルパソ・プロの作品で、製作は彼の映画に欠かさないロバート・テイラー。フォレスト・カーター原作の「テキサスへ去った」を脚色したのはフィル・カウフマンとソニア・チャーナス。「ワイルドバンチ」「ガルシアの首」のジェリー・フィールディングの音楽も見事なら、アリゾナ・ユタ・カリフォルニアの3州にわたるロケーションに「ダーティハリー」「レニー・ブルース」の名手ブルース・サートイスのカメラも見事な冴えを見せている。これは雄大でしかも豪快な、映画ファン必見の、ウエスタンを超えたウエスタンと言ってはばからない娯楽超大作だ。

（上映時間—2時間17分）



**\*映画はここから始まる……\***

カンサス・レッドレグ（北軍秘密軍事組織）の一隊に、理由もなく妻と子を殺されたジョージ・ウエールズ（クリント・イーストウツド）は、深い絶望と悲しみの末、一隊を指揮していたテリル大尉（ビル・マッキニー）に復讐を果たそうと、狂ったように射撃の練習をし、

フレッチャー（ジョン・バロン）がひきいる反逆者の一団に加わって、レッドレグを追った。だが目的を果せぬうち南北戦争は終結し、ジョージたちの一団も解散の時が来た。そして彼を除く全員が恩赦をうけるために、北軍のキャンプに名乗りでたが、卑怯にもテリルの策略にあい、武器をとりあげられたうえ一勢攻撃をうけた。この様子をうかがっ

ていたジョージが黙って見過ごすはずもなく、彼は単身、一個連隊の中に仲間を救うべく突入していった。凄まじい銃撃戦の未だ一人傷ついて生き残ったキッド（サム・ボトムス）を助けたジョージは、すぐにおたずね者として西部中に手配されることになった。だが、その事はとりもなおさず、夢にも忘れぬあの憎いテリルが、いつか必ずジョージ

をつかまえるために彼の目の前に現われるということでもあった。……7丁の連発銃を身につけて、凄まじいまでのその強さに、「一人の軍隊」と呼ばれ、西部中にその名を轟かせたアウトロー、ジョージ・ウエールズの激闘は続く。彼の行く手に待ち受けているのは賞金稼ぎ、インディアン、そして北軍の兵士たち。命を賭けた復讐はなるか!?

10月上旬 **ロード** ショウ

**東急レックス**  
(407)7019

**池袋東急**  
(971)2727

**新宿 東映パラス**  
(351)3061

**銀座東急**  
(571)3411

■渋谷東急文化会館地下

■池袋駅東口前

■伊勢丹斜め新宿東映地階

■新橋駅銀座口下車